

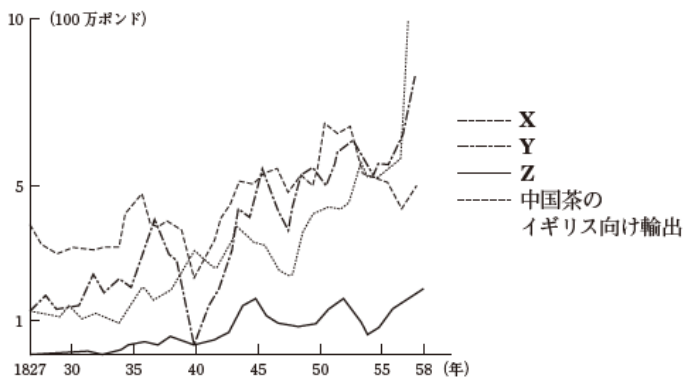
世界史B

第1問 問5

資料相互の関係を考える問題で、各学力層で差がついた

問5 下線部④に関連して、次のグラフはこの新たな貿易形態が活発化した時期に取り引きされた商品の輸出額を示したものである。下の資料5から読み取れる内容を踏まえて、グラフ中のX～Zと、輸出品う～おとの組合せとして正しいものを、下の①～⑥のうちから一つ選べ。 5

グラフ



(横井勝彦著『アジアの海の大英帝国』により作成)

資料：廈門のイギリス領事館書記をつとめたミッチェルの報告書
(著作権の都合により非掲載)

輸出品

- う イギリス産綿布の中国向け輸出
- え イギリス産綿布のインド向け輸出
- お インド産アヘンの中国向け輸出

- ① X-う Y-え Z-お
- ② X-う Y-お Z-え
- ③ X-え Y-う Z-お
- ④ X-え Y-お Z-う
- ⑤ X-お Y-う Z-え
- ⑥ X-お Y-え Z-う

第1問 問5

正解率	31.0%
SS70～75	87.1%
SS65～70	67.0%
SS60～65	49.7%
SS55～60	38.9%
SS50～55	31.5%
SS45～50	23.7%

2021年度第3回ベネッセ・駿台 大学入学共通テスト模試

「世界史B」

受験者数:	48,476人
平均点:	52.8点
標準偏差:	19.7

世界史B

第1問 問5

資料相互の関係を考える問題で、各学力層で差がついた

結果分析

第1問の問5は、二つの資料の関係を既習事項と結びつけて考える問題で、上位層と中下位層で差がつかまりました。

グラフ中の輸出額が減少している時期や資料から読み取れる内容に着目し、グラフで示されている輸出品について考察することが求められました。アヘン戦争やアジア三角貿易の知識と結びつけて解答を導くことができたかどうかで差がつかまりました。

指導のご提案

教科書が一通り終了し、問題演習を通して知識の定着・確認、加えて共通テストにおける設問形式への慣れを進められている時期だと思えます。

共通テストでは、グラフ・表や地図、また写真や文献資料などのさまざまな資料が提示され、そこから必要な情報を読み取り、既習事項の想起につなげるタイプの出題が予想されます。これからの時期、与えられた資料からキーワードや特徴を見出すための演習を繰り返し行うことを実践されると思えます。その際、誤った問題においては、問題を解く際の土台となる知識が曖昧になっていないかを、教科書や図説資料に立ち戻って確認することを、問題の「解き方・考え方」と合わせてご指導されることをお勧めいたします。